



<こども家庭庁より>



一人ひとりのこどものウェルビーイング(善い状態)のために大切な3つのこと。

「身体」「心」

「周りの環境や社会」

今回のテーマは、「身体」の部分についてです。

園庭に出ると、寒さにも負けず、元気いっぱいかけ出した1歳児の子ども達です。

【今回のテーマは】 身体の発達

友達と一緒に肩を寄せ合って、にこにこで走る姿、風船をもって一生懸命に走る姿、とってもかわいいですね。



この時期は、走る、階段を上がる、両足で跳ぶなど、徐々に基本的な運動機能が発達し、自分の体を思うように動かすことができるようになってくる時期ですね。



『教育・保育要領解説』の満1歳以上満3歳未満の園児の「健康」の領域には“健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う“ために、身近な大人から、自分の意思が尊重される安心した環境のもと、園児一人一人がもっている力を存分に発揮しようとする意欲が基盤である、とありますね。



園児が、自分から体を動かすことを楽しむことができるように、高い所やでこぼこ道、坂道、トンネルなど、園児の興味や関心に合わせて、全身を使ういろいろな遊びを一緒に楽しみたいですね。



身体を十分に動かして遊ぶことは、多様な動きを身に付けるだけでなく、生涯にわたって健康を維持したり、様々な活動への意欲を育んだりすることにつながる大切なことなんですね。



❖次回も「身体編」についてです。

